

# 流域で連携し 清流猪名川を守る

町名でもある「猪名川」は、淀川水系に属する一級河川で、流域は尼崎・伊丹・豊中・川西・池田・箕面市など2府1県11市町、180万人の流域人口を持つ、全長43・2kmの都市河川です。

この川の源流のまちである猪名川町は、親しめる河川環境づくりを推進し、次世代に美しい猪名川を引き継いでいくため、「清流猪名川を取り戻そう町民運動基本構想」を平成15年に策定し、さまざまな活動を展開しています。策定後は基本構想に基づき、町職員が投棄されているごみを回収する「環境パトロール」、各種団体が実施する河川清掃を行うなど、河川の美化に積

極的に取り組んできました。今年度については、清流を取り戻すための新たな取り組みとして、川西市・豊能町・能勢町・猪名川町が発起人となり流域同盟を設立し、昨年8月6日に本町で開催した「第14回全国川サミット」において、他の猪名川流域の自治体に設立趣意を説明し、同盟設立の呼びかけを行いました。

## 流域同盟の具体的な取り組み

流域同盟は、「流域の視点」に立ち、さまざまな形で「連携する」ことの大切さをテーマにしています。流域全体の川の環境をよくしていくために、流域内の自治体間で、そして世代を越えて、人と人の連携の重要性を呼びかけ、川



阿古谷川の河川清掃を行う阿古谷小学校の児童達（写真は昨年度）

と地域の新しい関係づくりや将来の川づくりをめざしていきます。

具体的な取り組み例として、流域同盟では、これまで各自治体や地域で実施している河川愛護活動や水質・水生生物の生態調査などを一斉に実施し、その日を「猪名川の日」にするなどの流域連携を考えています。

## 阿古谷川の河川清掃を実施します

阿古谷川では5月下旬から6月初旬にかけて、阪神間でほとと珍しくなったゲンジボタルがたくさん飛び交います。阿古谷小学校の子ども達は、ホタルがいる阿古谷川を自慢に思っています。しかし、ここ数年ホタルの数が減ってきているように感じながら、実は毎日見ている阿古谷川のことをよく知らなかったことに気づきました。

阿古谷小学校では「ホタルがいる阿古谷川をいつまでも守りたい」という思いのもと、阿古谷川について調べる学習を始め、今年で6年になります。また、学習にあわせて河川の清掃も行っています。

阿古谷小学校の子ども達は、この学習や清掃を通して、今は阿古谷川にホタルが住んでいるが、「一人ひとりが川を大切にしよう、ホタルを守ろう」という気持ちを持ちつつ、汚れ、ごみであふれてしまっ

## 猪名川流域の活動を冊子で紹介

猪名川流域10市町と流域で広域的に活動する団体が協働して、猪名川流域における河川愛護活動紹介冊子を作成しました。

これは、猪名川流域を一地域としてとらえ、各市町の河川愛護活動の取り組み状況をとりまとめ情報共有を図りながら、住民・団体などによる現在の河川愛護活動を助長できる施策など、流域市町全域で取り組める河川愛護活動について考える資料でもあります。

流域市町の河川などの所管部署に設置していますので、ご覧ください。

また、猪名川の河川管理者である国土交通省近畿地方整備局が策定した、淀川水系河川整備計画での住民との連

携・協働の取り組みである「河川レンジャー」などの有機的な連携を図るなど、官民一体となった取り組みを推進します。

問い合わせは、企画政策課（766・8711）へ。

## 阿古谷川

### 河川愛護活動の参加者募集

阿古谷小学校の子ども達・阿古谷小学校PTA・阿古谷地区の住民や町役場のボランティア職員などが連携・協働しながら、地域が一体となって阿古谷川の河川愛護活動を行います。

地域を問わず誰でも参加できますので、ぜひご参加ください。

とき 3月25日（土）午前9時～同11時

ところ 明神橋付近から阿古谷川上流付近までの約2.4km

集合場所 阿古谷小学校（駐車場）

持ち物 参加者は汚れても良い服装で、雨具や長靴などを準備して参加してください。軍手・ごみ袋・カマは準備します

申込方法 2月20日までに企画政策課へ、電話（766・8711）、FAX（767・2255）、Eメール（kikaku@town.inagawa.lg.jp）のいずれかで、参加者（代表）の住所・氏名・連絡先・参加人数を伝えてください。

その他 小雨決行、雨天中止 当日は午前7時から、電話（町役場：766・0001）で実施の有無を確認することができます。

問い合わせは、企画政策課（766・8711）へ。

ということがわかりました。そして、ホタルの時期以外はないという気持ちでいた阿古谷川をいろいろ調べていくうちに、今まで以上に

愛着が持てるようになり、観察して気づいたことを学校や地域の人に知らせ、「いつまでもホタルが飛び交う阿古谷川にしたい」と思っています。



## 花粉症はデバナをクジカナクテハ!

日生中央前田クリニック  
耳鼻咽喉科 前田育子医院長

2月に入って、もうすぐ、春一番が吹きます。この時期、スギの花粉が飛び始めます。日本人の7人にひとり、5人にひとりとも言われている春の花粉症が始まります。

スギは沖縄を除いた全国に、延450万haにおよぶ面積に広がって分布しています。古来から生活に必要な資源として絶やすことなく植え継がれてきた結果です。去年、スギの花粉は、前年の夏の猛暑のため、平均値の3～4倍の量が飛びました。財団法人気象業務支援センター主任技師の村山貢司氏によると、本年度の飛散量は平均値の60～

80%、飛散開始時期は、近畿・四国の太平洋側が最も早く2月10日頃、関東内陸部から西日本一帯が2月20日頃という予測です。

また、毎日の花粉情報は、翌日の花粉症状を占う上で重要です。花粉症の症状の強さは、人によって違いますが、1個の花粉で症状の出る人も、50個の花粉で初めて症状の出る人も、対策を実行しなければ、鼻づまりで夜も眠れなくなってしまう最悪の状態におちいります。3月の2週間過ぎた頃がその時です。気象予報と花粉情報が始まれば、見のがさないでください。

あらかじめ花粉症対策を立てることが大切です。飛散花粉量が最高なときは外出しない、出る時はゴーグル・マスク・ウィンドブレーカーを着用する、外出前の点眼点鼻はぬかりなく、内服薬は症状が悪化する前に服用しましょう。極端に言えば、花粉が飛ぶ前から服用すると、効果的です。近い将来には、根本的治療といえる免疫療法も、リスクの少ない形で、できるようになるでしょう。

## 2006猪名川町彫刻の道マラソン大会に ともなう交通規制にご協力を

～ふれあいバスも運休します～

2月11日（祝）午前9時～午後1時

町制施行50周年記念「2006猪名川町彫刻の道マラソン大会」を、町道原広根線から松尾台周辺で開催します。大会コース上の安全を期するため、次のとおり道路を通行止めします。

とき 2月11日（祝）午前9時～午後1時

区間 町道原広根線～松尾台周辺（下図のとおり） 通行止め区間については規制看板を設置します

ふれあいバスの運休区間 南部1コース＝上原（9：54）～原中～原～松尾台4丁目南～松尾台4丁目～松尾台集会所前～松尾台小学校前（10：00） 運休については、交通規制時間帯のみです

ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

マラソンに関する問い合わせは、生涯学習課（767・2323）、ふれあいバスに関する問い合わせは、企画政策課（766・8711）へ。

